

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。  
※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名 セパレート型 GPSレーダー探知機		GPS-971ER
●保証期間 ※お買い上げ年月日 年 月 日から		1年間
※お客様	ご住所〒  TEL ( ) -	
	お名前	
※販売店	店名・住所 〒  TEL ( ) -	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4



GPS/カーロケ帯受信機  
液晶表示・受信機能搭載  
X/K2バンド高感度レーダー探知機

## GPS-971ER

# 取扱説明書



GPS-971ERをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくための  
ガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分  
理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照く  
ださい。

# 目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. ご使用前に	3
3. 製品の構成	5
4. 主な特長	6
5. 各部説明	8
6. 取付方法	9
1. 取付方法	9
2. コードの接続	10
3. 本体の起動	11
7. 警告動作	12
1. GPS測位による警告動作	12
2. レーダー波受信に対する警告	17
3. 受信機による警告	19
8. リモコン操作	22
1. 音量の調節	24
2. オート設定・ユーザー設定	24
3. オートマッチック・イノベーション・システム (AIS)	25
4. レーダー波受信感度の設定	26
5. アラームブザー・メロディ選択	26
6. オートアラームカットシステムの設定方法	27
7. 受信機能の設定	27
8. パスメモリー機能	29
9. ミュート機能	29
10. ゴーストアラームカット (GAC) ポイント手動登録・削除	30
11. Nシステムの警告設定	31
12. GPSアラームカットの登録・解除	31
13. オリジナルポイントの登録・削除	32
14. 通過速度の参照	33
15. 表示モードの変更	33
16. 履歴情報の登録・再生・削除	33
17. 履歴情報の保護の設定	35
18. カー・メンテナンス・システム (CMS)	35
9. 故障とお考えになる前に	37
10. 主な仕様	38

# 1. 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前にこれらをよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

## ■絵表示の例



△記号は気をつける必要があることを表しています（警告・注意）。



⊘記号はしてはいけないことを表しています（禁止）。⊘の中や近くの表示は禁止の内容（左図は分解禁止）を示し、一般の禁止は⊘です。



●記号はしなければならないことを表しています（強制）。（左図は差し込みプラグをコンセントから抜く）。一般の表示は●です。

## 人身の安全のためにお守りいただくこと



### ■本機を濡らさないでください。

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



### ■車を運転中に本機を操作しないでください。

車を運転中に本機の操作をすることは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。



### ■ケースは絶対に開けないでください。

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。



### ■スピードの出しすぎにご注意ください。

本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。



### ■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。

これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。（カー電源コードを使用中の場合には車のシガーライターソケットから抜いてください）そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



## けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと



### ■衝撃や強い振動を加えないでください。

衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因となります。



### ■高温時の取扱にご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温となりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。



### ■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。

シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。



## 機能上の制約



### ■日本国内で使用してください。

本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。



### ■マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。

本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤ式などのスピード取締機からの電波は受信しません。



### ■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。

前方に走行中の車（特に大型車）がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。



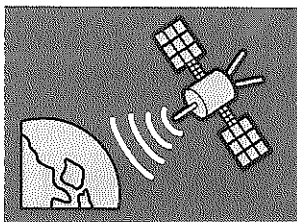
### ■取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。

取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

## 2. ご使用の前に

### GPS測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは地球の衛星軌道にある人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。本機ではこのシステムを利用して自車位置を測定し、あらかじめ登録されている取締機、取締ポイント、Nシステムの位置情報との照合を行います。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかったループコイル式や光電管式取締機についても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機や取締ポイントについても30ヶ所まで登録することが可能です。



### ■Nシステム (自動車ナンバー自動読み取りシステム) とは

全ての走行車両を必要に応じてデジタルカメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする自動車ナンバー読み取り装置です。

### 受信機について

本機は、速度取締連絡波 (350.1MHz)、特小無線、新救急無線、消防無線、カーロケーターシステム (無線自動車動態表示システム) 電波、および警察デジタル無線 (VHF/署活系)、ヘリテレ無線を受信し、音声と液晶表示で警告します。

### ■取締連絡波 (350.1MHz) とは

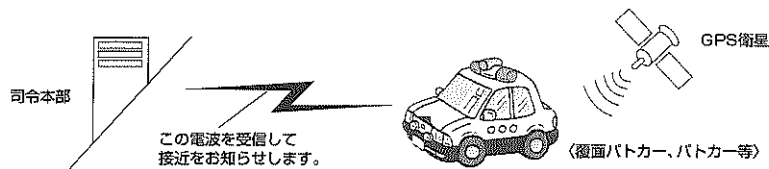


### ■取締特小無線とは

スピード違反などの取締現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われていることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合もあります。

### ■カーロケーターとは

GPSによる位置データを無線で定期的 (間欠) に司令部に送信するシステム。



### ■デジタル無線とは

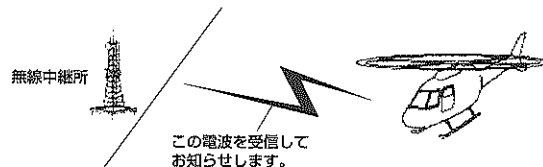
各都道府県警察本部と移動端末間で交信される時に使用されている電波のことで、移動端末から各都道府県本部へ送信する際に、160MHz帯の周波数が使用されています。

### ■署活系無線とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察署との連絡用として使用している無線です。

### ■ヘリテレ無線 (ヘリコプター取締無線・消防ヘリテレ無線) とは

ヘリコプターから無線中継所へ送信される電波のことで主に、事件・事故や取締等の時、上空と地上で連絡を取るために使われています。



### ■レッカー無線とは

レッカー業者同士が連絡用として使用している無線です。

### ■消防無線とは

消防車が消火活動時や、活動後に消防署との連絡に使用している無線です。

### ■新救急無線とは

救急車と消防本部の連絡用に使用される無線のうち、特定の地域で使用されている無線です。

### 3. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

● 本体	1台
● リモコン	1個
● リチウムコイン電池 (CR2025)	1個
● アンテナ	1台
● 取付ステー (本体)	1個
● 両面テープ (アンテナ)	1個
● 両面テープ (取付ステー)	1個
● カー電源コード	1本
● 取扱説明書兼保証書 (本冊子)	1冊

### 4. 主な特徴

#### ■ハイコントラスト液晶表示

レーダー波の受信や取締機への接近、また各種レシーバーの受信情報をわかりやすく液晶表示します。

また通常時も車速や時計など、多彩な情報を表示します。

#### ■リモコン操作

操作は全てワンタッチリモコンで操作。

本体の設置箇所を選びません。

#### ■ゴーストアラームカット機能搭載

自動ドアによる誤動作など、通過のたびに発生するレーダーの誤動作の発生位置を自動的に学習し、不要なアラーム音をカットします。(自動登録のほか、手動操作による登録も可能です。)

#### ■走行履歴の保存機能

プリセット取締機の通過時、自動的に通過前後の走行履歴(位置情報、車速など)を保存し、走行状況を後から確認する事ができます。また、操作前後の走行履歴を手動で保存することもできます。

#### ■ドライビング・サポート・インフォメーション (DSI)

音声と液晶表示で情報を表示します。

#### ■CMS (カー・メンテナンス・システム) 機能

オイル、タイヤ、バッテリー等のメンテナンス時期をお知らせします。

#### GPS警告機能

##### ■日本国内の各種ポイントデータをメモリ

全国のオービス(速度取締機)約650箇所、Nシステム(自動車ナンバー自動読みとりシステム)約1600箇所、またよく速度取締が行われているポイントをプリセット済みです。GPS電波による自車位置測定により、各ポイントに接近すると液晶表示、音声で警告します。

さらに、オリジナルポイントを最大30箇所まで登録することが出来ます。

##### ■オービスポイント自動検索機能

メモリしてあるオービスの最大2km手前から、液晶表示と音声で接近をお知らせします。

##### ■取締機設置路線の制限速度ガイド機能

プリセットされている取締機への警報時、あわせて制限速度もお知らせします。また、車速の状況に応じて危険か判断し、液晶表示と音声でお知らせします。

##### ■オートマッチック・インベーション・システム (AIS)

高速道路への進入を確認し、車速に応じてROAD設定(ALL・HIWAY・CITY)を自動的に切り替えます。

従来の製品に必要なだった、走行道路種(一般道・高速道)の設定が必要なく、異なる道路種に設置された取締機に対して発生していた誤警報を防止します。  
※走行場所・環境により、高速道路の走行を判断できない場合があります。その場合は、自動的にALLモードに設定され、すべての取締機に対して警告を行います。

##### ■GPS警告の低速ボイスカット機能

メモリしてあるオービス位置への接近時、停車中や低速走行時の警告ボイスを

自動でカットします。

## 受信機

### ■速度取締現場の連絡無線（350.1MHz・特小無線）が受信可能

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信できます。

### ■カーロケーターシステム電波が受信可能

緊急車両に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

### ■デジタルロケーターシステム電波（160MHz）が受信可能

160MHz帯のデジタル無線を受信できます。

### ■ポリロケーターシステム電波（UHF帯警活系）が受信可能

UHF帯の警察署活系無線を受信できます。

### ■デジタル無線発信車両の接近離反をお知らせ

発信車両の接近・離反を判断し、音声でお知らせします

### ■ヘリテレ無線対応

ヘリコプターから無線中継所に送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

ただし、一部地域やヘリコプターにこのシステムが導入されていない場合があります。

### ■緊急車両無線（新救急無線、消防無線、レッカー無線）対応

救急車または消防車から送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

### ■トラップゲートモード搭載

液晶表示と専用アラームで取締（検問等）の可能性が高いことをお知らせします。

### ■バスメモリー機能搭載

不要なチャンネルを記憶し受信拒否できます。

## レーダー

### ■X/Kの2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式スピード取締機に対応します。

### ■6モード受信感度切替（レーダー受信感度）

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況に合わせレーダーの受信感度の切り替えができます。また、車速に応じて自動でモード変更を行うオートモードも搭載。

### ■ステルス／新Hシステム対応

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。  
※ステルス識別モードはステルス型スピード取締に完全対応ではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

### ■オートアラームカット（AAC）システム搭載

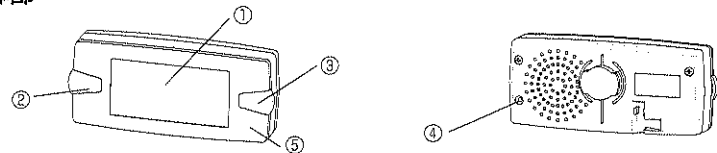
GPSにより走行速度を検出することで、低速走行時のレーダーアラーム音をカットします。

### ■オートミュート機能

一定時間レーダー波を受信し続けると警告音の音量が小さくなります。

## 5. 各部説明

### 本体部



#### ①液晶ディスプレイ

文字やアイコンで、警報や状態表示を行います。

#### ②電源ボタン

電源をON/OFFします。

ボタンを押すたびに、ON/OFFが切り替わります。

#### ③記録ボタン

走行データを記録します。

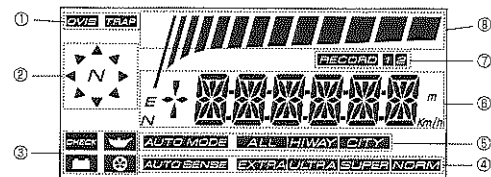
#### ④リセットボタン

設定の初期化を行います。

#### ⑤POWERランプ

LEDが光ってお知らせします。

### 液晶ディスプレイ表示について



#### ①取締り種類表示

取締の種類に応じた表示をします。

#### ②コンバス表示

プリセット登録されている取締機・取締ポイントに対して警告を行うとき、取締機・取締ポイントのある方向を示します。また、通常時は北を指します。

#### ③カーメンテナンスガイド表示

メンテナンス情報の設定状況や、メンテナンス時期の到来を表示します。

#### ④レーダー感度表示

設定されているレーダー感度・オート感度機能の設定状況を表示します。

#### ⑤ロード設定表示

GPS警告機能のROAD設定状況を表示します。

#### ⑥マルチディスプレイエリア

現在時刻や各種警告内容など、様々な情報を表示します。

#### ⑦走行履歴表示

走行履歴の保存状況を表示します。

#### ⑧レベルゲージ表示

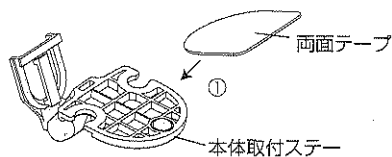
GPS警告時の距離レベルやレーダー・レーザーの受信レベルや走行車速などレベルを表示します。

## 6. 取付方法

### 1. 取付方法

#### 1. ダッシュボードへの取付

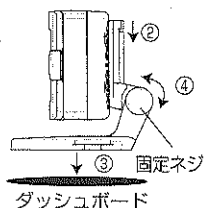
①同梱の両面テープを本体取付ステーに貼り付けます。



②本機に本体取付ステーを取り付けます。

③両面テープのもう一方でダッシュボードへ取り付けます。

④本体の角度を水平になるように、固定ネジを締め、しっかりと固定してください。

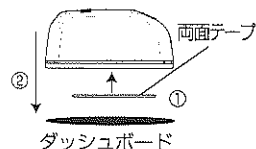


#### 2. アンテナのダッシュボードへの取付

①アンテナに同梱の両面テープを貼り付けます。

②ダッシュボードへ貼り付けます。

※レーダー波受信部（アンテナに矢印表示あり）が車の進行方向を向くように調整してください。

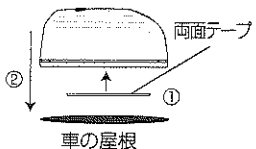


#### 3. アンテナの車外への取付

①アンテナに同梱の両面テープを貼り付けます。

②車の屋根周辺へ貼り付けます。

※レーダー波受信部が車の進行方向（アンテナに矢印表示あり）を向くように調整してください。



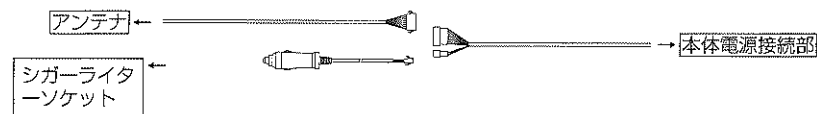
## 2 コードの接続

### 1. カー電源コードの接続

カー電源コードの電源ジャックを本体接続ケーブルの接続部に差し込み、シガーライターソケットをシガーライタープラグに差し込みます。

また、アンテナ接続ケーブルと本体接続ケーブルを接続して下さい。

※接続方法



### 注意

●シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取り付けてください。

●カー電源コードは必ず付属のものをお使いください。

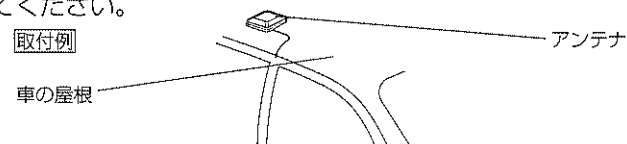
### 2. アンテナコードの接続

1. アンテナを車の屋根など、GPS衛星からの信号を受けやすい場所に取り付けて下さい。

両面テープでしっかり固定するために平らな面に取り付けて下さい。

※レーダー受信部が車の進行方向（アンテナ表示あり）を向くように調整してください。

### 取付例



2. アンテナのコードを車内に引き込んでください。

### 注意

●本機に雪が積もると受信ができなくなります。雪を取り除いて下さい。

●アンテナを付けたまま洗車機などはご使用しないで下さい。（車の傷や故障の原因となります。）

●雨水が車内に入らない様にするため、アンテナのコードはドアの下から車内に引き込んで下さい。

●アンテナのコードを、車外でたるませたままにしないで下さい。

●コードはラジオなどのアンテナコードから離して下さい。

（ラジオなどの受信妨害の原因となります。）

●アンテナとの接続に問題がある場合、動作中に“ピピピピ”とアラームでお知らせします。

### 3 本体の起動

本機は工場出荷時に初期設定していますので、初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

GPS測位が決定すると「ブーン、GPSを測位しました」とアナウンスします。

#### 工場出荷時の設定

工場出荷の時点において、各設定は以下のようにされています。

設定項目	設定値
AIS	オートモードON、ALLモード
レーダー感度	オートセンスモードON、エクストラ
オートアラームカット (AAC)	40km/h
レーダーアラーム	ブザー
音量	最大
デジタル無線	ON
審活系無線	ON
カーロケ無線	ON
取締無線	ON
ヘリテレ無線	OFF
緊急車両無線	OFF
Nシステム	ON
ユーザーオリジナルポイント	未登録
ゴーストアラームカットポイント	未登録
プリセットポイントのアラームカット	未登録
パスメモリー	未登録

#### 注意

●各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

※変更した設定を初期化したい場合

●本体のリセットボタンを1秒以上長押しすると、「ピー」とアラームでお知らせし、液晶表示に「ALLCLR」と表示され、設定が工場出荷時のものに初期化されます。



※オールクリア表示

## 7. 警告動作

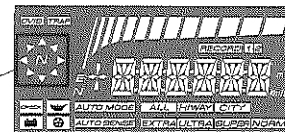
### 1. GPS測位による警告動作

#### ①GPS機能の使用

GPS測位が確定すると、「ブーン、GPSを測位しました」と、音声で案内しPOWERランプが青色点灯し測位完了をお知らせします。

※測位完了前、POWERランプは黄色点滅します。

●コンパス表示  
通常時は北を指し示します。



※表示例  
北西に進んでいる場合

#### 注意

●起動した直後は測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は遮蔽物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

#### 警告の対象とする道路種

液晶の「オール」 / 「ハイウェイ」 / 「シティ」表示により、警告の対象とする道路種をお知らせします。

モード	警告対象	液晶表示
オールモード	全ての登録済みポイント	ALL
高速モード	高速道路に設置されたポイント	HIWAY
一般モード	一般道に設置されたポイント	CITY

#### 注意

●遮蔽物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、測位できていないことを「GPS測位できません」と、音声でお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。



## ②GPS警告動作

本製品にあらかじめ登録されているプリセットポイント（取締機及び取締ポイント）、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近すると音声、及び液晶表示でお知らせします。

追跡中のバックライトは赤点灯します。

### (1)取締機に対する警告動作

#### 警告動作

#### ① 最大2km手前

音声で警告します。  
"取締機に接近しました。"

#### ② 約1km~500m手前

液晶表示と音声で警告します。  
例) "ポーン、制限速度は50キロ未満です、1キロ先の一般道路、LHシステムに注意してください。"



※レベルメーターは取締機との距離を示します。  
※コンパス表示は取締機の方向を示します。

#### ③ 一定時間毎に音声で警告します。

音声で警告します。  
制限速度以上の場合の例) "ポーン、速度オーバーです、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

制限速度未満の場合の例) "ポーン、安全速度です、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

#### ④ 500m~200m手前

液晶表示と音声で警告します。  
例) "ポーン、制限速度は50キロ未満です、500m以内の一般道路、LHシステムに注意してください。"



※レベルメーターは取締機との距離を示します。  
※コンパス表示は取締機の方向を示します。

#### ⑤ 一定時間毎に音声で警告します。

音声で警告します。  
制限速度以上の場合の例) "ポーン、速度オーバーです、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

制限速度未満の場合の例) "ポーン、安全速度です、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

#### ⑥ 200m手前~通過まで

液晶表示と音声で警告を繰り返します  
(1)制限速度以上（10キロオーバーで走行中）の場合  
"危険です。危険です。..."



(2)制限速度未満の場合

"注意してください。注意してください。..."



#### ⑦ 通過後

音声でポイント通過時の速度をお知らせします  
例) "通過速度は60キロ未満です"

### ちょっと一言

●距離内容は距離に応じて「1キロ先」、「1キロ以内」、「500m先」、「500m以内」と変わります。

●取締機の方向を示します



●距離に応じて変化します

●取締機の内容はポイントにより識別し、お知らせします。

取締機の種類：

- ・LHシステム
- ・Hシステム
- ・ループコイル式オービス
- ・レーダー式オービス
- ・NHシステム

●道路種内容はポイントの設置されている道路により「一般道路」または「高速道路」となります

●通過速度は40キロ未満から160キロ未満まで、10キロ刻みでお知らせします。

●トンネル直後の取締機については、トンネル進入前に音声でお知らせします。  
例) "ポーン、トンネル出口の一般道路、LHシステムに注意してください"

## (2)オリジナルポイントに対する警告動作

### 警告動作

#### ① 約1km～500m手前

液晶表示と音声で警告します。

例) "ポーン、1キロ先のオリジナルポイントに注意してください。"



#### ② 一定時間毎に音声で警告します

液晶に現在の車速、音声で警告します。

例) "ポーン、オリジナルポイントに注意してください"



※現在の車速度を表示

#### ③ 500m～200m手前

液晶表示と音声で警告します。

また、現在の車速をお知らせします。

例) "ポーン、500m先のオリジナルポイントに注意してください。"



※現在の車速度を表示

#### ④ 一定時間毎に音声で警告します。

液晶に現在の車速、音声で警告します。



※現在の車速度を表示

#### ⑤ 200m手前

液晶に車速と音声で警告します。

例) "危険です。危険です。危険です。..."



※現在の車速度を表示

#### ⑥ 通過後

音声でポイント通過時の速度をお知らせします

例) "通過速度は60キロ未満です"

## (3)取締ポイントに対する警告動作

### 警告動作

#### ① 約1km～500m手前

液晶表示と音声で警告します。

例) "ピピーッ、一般道路、検問に注意してください。"

#### ② 一定時間毎に音声で警告します

音声で警告します。

例) "ピピーッ、検問に注意してください。"

#### ③ 500m～200m手前

液晶表示と音声で警告します。

例) "ピピーッ、一般道路、検問に注意してください。"



※一般道路



※高速道路

## (4)Nシステムに対する警告動作

・Nシステムを感知すると液晶に道路種と取締種を表示し、"ポーン、〈道路種〉Nシステムをキャッチしました。"と、音声でお知らせします。



※一般道路



※高速道路

### ご注意

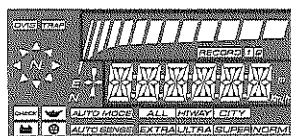
- GPS警告の開始後、車の走行速度が低い状態では自動的に警告ボイスをカットします。
- 警告ボイスはGPSの測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、危険が回避された場合（横道にはいるなどで方向変換した場合等）は警告動作を終了します。
- 本機ではレーダー受信よりもGPS警告を優先します。このため、GPS警告中はGPS状態の優先表示となり、レーダー受信アラームも鳴りません。

## 2. レーダー波受信に対する警告

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音および液晶表示によりレーダー波の受信をお知らせします。

レーダー波が強くなる（発信源に近づく）につれて、警告音及び液晶が変化します。またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
アラーム音	電波が強くなるほど鳴る間隔が短くなります。（音色 ビツビツ）ただし、メロディを選択している場合、テンポは変化しません	ステルス専用音声・アラームで警告します。 音声 “ステルスをキャッチしました”



**レベルゲージ**  
警告レベルに応じたメーターを表示します。

**マルチディスプレイエリア**  
警告内容を表示します



※レーダー表示      ※速度表示

### 注意

- 本機はステルス型取締に対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

## ■オートミュート機能

レーダー波受信時に一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。

## ■オートアラームカット (AAC) システム

GPS測位で取得した車速をもとに、設定速度以下での走行時のレーダーアラーム音をカットします。

オートアラームカット時に液晶に「AAC」と表示されます。



※オートアラームカット表示

設定速度の変更方向はP.27を参照してください。

## ■ゴーストアラームカット (GAC) 機能

・GPS機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤作動発生位置を自動的に登録・動作します。

※同一エリアにおいて、レーダー受信が行われると、GACエリアとして自動的に登録されます。登録時には、“ポーン、不要な電波を削除します”と音声でお知らせします。

・GACエリアとして登録された場所では、レーダー受信時にアラーム音出力を停止します。

・GAC動作中は液晶に「GAC」と表示されます。



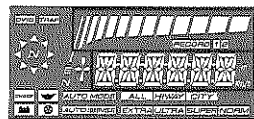
※ゴーストアラームカット表示

### 注意

- 設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってゴーストアラームカットエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作（P30参照）を行ってください。
- 自動的に登録されたゴーストアラームカットポイントは、登録から30日経過した時点でいったん消去されます。手動で登録されたポイントは自動消去されません。
- GPSの測位状況によっては、ゴーストアラームカットエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

### 3. 受信機による警告

本機は速度取締連絡波(350.1MHz)、特小無線(422.275MHz、422.3MHz)、カーロケーターシステム(自動位置測定情報システム)電波、および警察デジタル無線(VHF/署活系)、新救急無線、ヘリテレ無線、レッカー無線を受信し、音声と液晶表示で警告します。工場出荷時はヘリテレ無線、緊急無線以外の受信機能が[ON]に設定されています。



- レベルゲージ  
警告レベルに応じたメーターを表示します。
- マルチディスプレイエリア  
警告内容を表示します。

#### (1)取締連絡波の受信

・取締連絡波(350.1MHz)を受信すると液晶表示し、受信音声を聴くことができます。  
・取締連絡波受信時は液晶に「P350」と表示され、レベルゲージは電波の強弱で変化します。



※取締連絡波受信表示

・受信終了後には“ピンポン、取締無線をキャッチしました。注意してください”と、音声でお知らせします。

#### (2)特小無線の受信

・特小無線(422.275MHz、422.3MHz)を受信すると液晶表示し、受信音声を聴くことができます。  
・特小無線受信時は液晶に「P420」と表示され、レベルゲージは電波の強弱で変化します。



※特小無線受信表示

・受信終了後には“ピンポン、取締無線をキャッチしました。注意してください”と、音声でお知らせします。

#### (3)カーロケ無線の受信

・カーロケ無線を受信すると「CARLOC」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。  
・また、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音声
初回受信	—	ピンポン、カーロケをキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました



※カーロケ無線受信表示

### 【注意】

- カーロケーターシステムは全ての緊急車両に搭載されているわけではなく、また常時車両から電波を出しているわけでもありません。  
このような場合は緊急車両の接近があってもお知らせすることはできません。
- カーロケ無線はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### (4)デジタル無線の受信

・デジタル無線を受信すると「DIGI-V」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。  
・また、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音声
初回受信	—	ピンポン、デジタル無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました



※デジタル無線受信表示

### 【注意】

- デジタル無線はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### (5)署活系無線の受信

・署活系無線を受信すると「POLICE」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。  
・また、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音声
初回受信	—	ピンポン、署活系無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました



※署活系無線受信表示

### 【注意】

- 署活系無線はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### (6)ヘリテレ無線の受信

・ヘリテレ無線を受信すると「HELI」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。  
・また、受信音声を聴くことができます。



※ヘリテレ無線受信表示

・受信終了後には“ピンポン、ヘリテレ無線をキャッチしました。”と、音声でお知らせします。

### ⑦消防ヘリテレ無線の受信

・消防ヘリテレ無線を受信すると「F-HEL」 と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。

・また、受信音声を聴くことができます。



※消防ヘリテレ無線受信表示

・受信終了後には“ピンポン、ヘリテレ無線をキャッチしました。”と、音声でお知らせします。

### ⑧消防無線の受信

・消防無線を受信すると「FIRE」 と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。

また、“ピンポン、緊急車両をキャッチしました。”と、音声でお知らせします。



※消防無線受信表示

### ⑨新救急無線の受信

・新救急無線を受信すると「AMBULA」 と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。

・また、“ピンポン、緊急車両をキャッチしました。”と、音声でお知らせします。



※新救急無線受信表示

### ⑩レッカー無線の受信

・レッカー無線を受信すると「WRECK」 と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。



※レッカー無線受信表示

・受信終了後には“ピンポン、キャッチしました。”と、音声でお知らせします。

### ⑪トラップゲートモードの受信

・複数の警察無線を受信した場合、取締（検問）の可能性が高いと判断し、液晶表示とアラーム音でお知らせします。

また、レベルゲージが専用のスクロールをします。



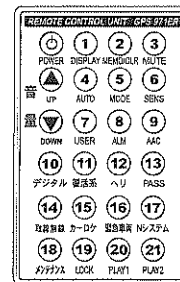
※トラップゲートモード表示

### 注意

●警告音が鳴らなくても取締が行われていることもありますのでご注意ください。

## 8. リモコン操作

### リモコン



#### ① POWERボタン

パワーオン、スタンバイの切り替えを行います。

#### ② DISPLAYボタン

待ち受けモードの切り替えを行います。

#### ③ MEMO/CLRボタン

オリジナルポイントやゴーストアラームカットポイントの登録、消去を行います。

#### ④ MUTEボタン

アラームミュートの設定、アラームテストを行います。

#### ⑤ AUTOボタン

オートモードの設定を行います。

#### ⑥ MODEボタン

道路設定を行います。

#### ⑦ SENSボタン

レーダーの感度設定を行います。

#### ⑧ USERボタン

ユーザーモードの設定の復帰と記録を行います。

#### ⑨ ALMボタン

レーダーアラームの設定を行います。

#### ⑩ AACボタン

オートアラームカット（AAC）の設定を行います。

#### ⑪ デジタルボタン

デジタル無線（VHF帯）の受信設定を行います。

#### ⑫ 署活系ボタン

署活系無線の受信設定を行います。

#### ⑬ ヘリボタン

ヘリテレ無線の受信設定を行います。

### ⑬ PASSボタン

パスメモリーの設定を行います。

### ⑭ 取締無線ボタン

取締無線 (350.1MHz)、特小無線 (422.2750MHz、442.3MHz) の受信設定を行います。

### ⑮ カーロケボタン

カーロケ無線の受信設定を行います。

### ⑯ 緊急車両ボタン

緊急車両無線 (新救急無線、消防無線、レッカー無線) の受信設定を行います。

### ⑰ Nシステムボタン

Nシステムの警告設定を行います。

### ⑱ メンテナンスボタン

メンテナンスの登録、履歴表示を行います。

### ⑲ LOCKボタン

履歴情報の上書き禁止を行います。

### ⑳ PLAY1ボタン

自動記録内容の再生表示を行います。

### ㉑ PLAY2ボタン

手動記録内容の再生表示を行います。

### ㉒ UPボタン

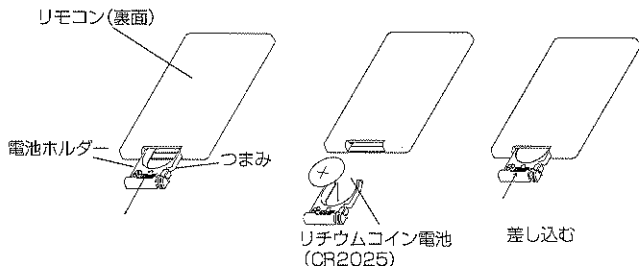
音量を上げます。

### ㉓ DOWNボタン

音量を下げます。

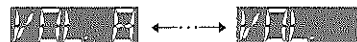
### 電池の交換方法 (リモコン)

- ① 電池ホルダーのつまみをはさみながら、電池ホルダーを引き出します。
- ② 電池ホルダーにリチウムコイン電池 (CR2025) をはめ込みます。  
+、-の向きに注意してください。
- ③ 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。  
カチッ、と音がするまでしっかり差し込んでください。



## 1. 音量の調節

UPボタン (㉒) を押すと音量は大きくなり、DOWNボタン (㉓) を押すと音量は小さくなります。



### 注意



※音量の上限を表示



※音量の下限を表示

## 2. オート設定・ユーザー設定

本機には、あらかじめ各種設定が登録済みのオート設定と、各種設定が変更可能なユーザー設定があります。

### (1) オート設定切替

AUTOボタン (㉔) を押すと、液晶に「AUTO」と表示され“設定しました”と音声でお知らせし、オート設定に切り替ります。

※オート設定では、各種設定が以下の通りになります。

対象項目	設定内容
AIS	オートモードON、オールモード
レーダー感度	オートセンスON、エクストラモード
取締無線	ON
カーロケ無線	ON
デジタル無線	ON
署活系無線	ON
ヘリテレ無線	OFF
緊急車両無線	OFF
Nシステム	ON
AAC	ON、40km/h

## ②ユーザー設定切替

USERボタン(⑦)を短く押すと、液晶に「USER」と表示され、「設定しました」と、音声でお知らせしユーザー設定に切り替ります。

ユーザー設定には、USERボタン(⑦)を長く押す事で各種設定を自由に登録しておくことができます。

※初期状態は以下の通りです。

対象項目	設定内容
道路種設定	オートモードOFF、オールモード
レーダー感度	オートセンスOFF、エクストラモード
取締無線	ON
カーロケ無線	ON
デジタル無線	ON
審活系無線	ON
ヘリテレ無線	ON
緊急車両無線	ON
Nシステム	ON
AAC	ON、40km/h

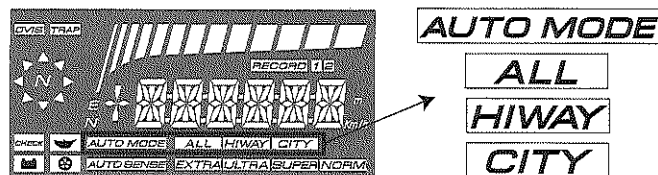
## 3. オートマッチック・イノベーション・システム (AIS)

・MODEボタン(⑥)を短く押す事で、マニュアルモードとなり「ALL」→「HIWAY」→「CITY」の順で切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

・MODEボタン(⑥)を長く押す事で、オートモード設定のON/OFFが切替ります。

・オートモードがONになると「AUTO MODE」と液晶表示されます。

※道路状況によりオートモード設定が正常に動作しない場合があります、この場合マニュアルモードに切り替えて任意の道路設定に変更して下さい。

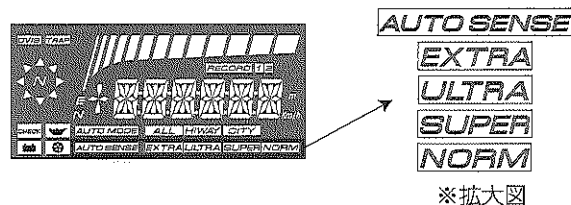


設定	音声	液晶表示	説明
オート	設定しました。	<b>AUTO MODE</b>	走行道路種の設定を自動的にを行います。
オール	オールモードを設定しました。	<b>ALL</b>	高速道路、一般道路の全ての取締機に対して警報します。
ハイウェイ	高速モードを設定しました。	<b>HIWAY</b>	高速道路の取締機に対して警報します。
シティ	一般モードを設定しました。	<b>CITY</b>	一般道路の取締機に対して警報します。

## 4. レーダー波受信感度の設定

・SENSボタン(⑧)を短く押す事でマニュアルモードとなり、レーダー波受信感度が切り替ります。設定された感度を下記の様に液晶表示と音声でお知らせします。

・SENSボタン(⑧)を長く押すことで、受信感度をオートセンスモードのON/OFFが切り替ります。



	感度	音声	液晶表示
	オートセンスモード	設定しました	<b>AUTO SENSE</b>
高 ↑ ↓ 低	エクストラモード	エクストラモードを設定しました。	<b>EXTRA</b>
	ウルトラモード(H)	ウルトラモードをハイに設定しました。	<b>ULTRA</b>
	ウルトラモード(L)	ウルトラモードをローに設定しました。	<b>ULTRA SUPER</b>
	スーパーモード(H)	スーパーモードをハイに設定しました。	<b>SUPER</b>
	スーパーモード(L)	スーパーモードをローに設定しました。	<b>SUPER NORM</b>
	ノーマルモード	ノーマルモードを設定しました。	<b>NORM</b>

## 5. アラームブザー・メロディ選択

ALMボタン(⑨)を短く押すと、レーダー波を受信した場合のアラーム音をブザー(ピピピ音)とメロディ(アルルの女・メリーさんの羊)から選択できます。ALMボタン(⑨)を短く押すたびに、ブザー→アルルの女→メリーさんの羊→ブザー→…と切り替ります。

アラーム音または音声の出力中はアラーム音の変更はできません。

## 6. オートアラームカット (AAC) システムの設定方法

AACボタン(㉑)を短く押すことにより、AACの機能及び設定速度が切り替わります。

GPS測位で取得した車速をもとに、設定速度以下での走行時のレーダーアラーム音をカットします。

液晶表示と、設定を音声でお知らせします。

設定	音声	設定速度	液晶表示
ON	AACを40キロに設定しました。	時速40km	
	AACを50キロに設定しました。	時速50km	
	AACを60キロに設定しました。	時速60km	
OFF	AACを解除しました。	-	

## 7. 受信機能の設定

### (1) 取締連絡波 (350.1MHz、420MHz帯) の受信設定

取締無線ボタン(㉒)を短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		取締無線を設定しました
OFF		取締無線を解除しました

### (2) カーロケ無線の受信設定

カーロケボタン(㉓)を短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		カーロケを設定しました
OFF		カーロケを解除しました

### (3) デジタル無線の受信設定

デジタルボタン(㉔)を短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		デジタル無線を設定しました
OFF		デジタル無線を解除しました

### (4) 署活系無線の受信設定

署活系ボタン(㉕)を短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		署活系無線を設定しました
OFF		署活系無線を解除しました

### (5) ヘリテレ無線・消防ヘリテレ無線の受信設定

ヘリボタン(㉖)を短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		ヘリテレ無線を設定しました
OFF		ヘリテレ無線を解除しました

### (6) 緊急車両の受信設定 (新救急無線、消防無線、レッカー無線)

緊急車両ボタン(㉗)を短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		緊急車両を設定しました
OFF		緊急車両を解除しました



## 8. パスメモリー機能

デジタル無線（VHF、署活系）ヘリテレ無線、消防ヘリテレ無線、レッカー無線、新救急無線、消防無線については常時受信してしまう任意のチャンネルをパスメモリー登録し、受信対象から外すことができます。これにより地域ごとに異なる常時使用チャンネルの受信をカットできますので、効率的かつ実用的な受信検出ができます。

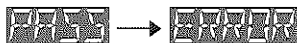
### 操作方法

- 1 受信します。
- 2 15秒以内にPASSボタン(19)を短く押します。  
受信した受信チャンネルをパスメモリーに登録します。  
全ての受信チャンネルについて登録ができます。  
登録が完了すると、液晶に「PASS」、「MEMORY」と表示され「パスメモリーを設定しました。」と音声でお知らせします。



### 注意

受信していない状態で上記の操作を行いますと、液晶に「PASS、ERROR」と表示され「パスメモリーを設定出来ません。」と音声でお知らせします。



- 3 受信待ちの状態になります。  
登録されたチャンネルは以後のスキャンでパスされますので受信しません。

※リセットボタンを押してからPASSボタン(19)を短く押すことで全てのパスメモリーをクリアします。  
この際、「パスメモリーを消去しました」とお知らせします。  
パスメモリーに登録した受信チャンネルは一つずつクリアすることはできません。

## 9. ミュート機能

警告動作中に警告音が不要になったとき（レーダー波の発信源がわかっているときなど）受信中のレーダー波がなくなるまで警告音をカットできます。

### 操作方法

- 1 警告動作中にMUTEボタン(20)を短く押します。  
ミュート機能が働いて警告音が止まります。

### 解除方法

- 1 ミュート機能の動作中に再度MUTEボタン(20)を短く押します。  
ミュート機能が解除され警告音が鳴ります。

## 10. ゴーストアラームカット（GAC）ポイントの手動登録・削除


- ・自動ドアなどの電波によるレーダー誤作動発生位置を登録します。
- ・GACエリアとして登録された場所では、レーダー受信時にアラーム音出力を停止します。
- ・GAC動作中は液晶に「GAC」と表示されます。



※ゴーストアラームカット表示

### 手動登録方法

#### 登録方法

- 1 レーダー受信中にMEMO/CLRボタン(21)を長く押します。  
“ボーン”と音声でお知らせします。
- 
- 2 現在位置周辺をゴーストアラームカットエリアとして登録します。  
現在位置を中心として一定範囲をゴーストアラームカットエリアとして登録します。  
登録完了時には、“不要な電波を消去しました”と音声でお知らせします。  
現在位置を測位できなかった場合は、“設定できません”と音声でお知らせします。



### 手動消去方法

#### 個別消去

- 1 ゴーストアラームカット動作中にMEMO/CLRボタン(21)を長く押します。
- 2 ゴーストアラームカットエリアを消去します。  
操作後、通常のアラーム警告が行われます。

### 注意

- 設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってゴーストアラームカットエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作を行ってください。
- 自動的に登録されたゴーストアラームカットポイントは、登録から30日経過した時点でいったん消去されます。手動で登録されたポイントは自動消去されません。
- GPSの測位状況によっては、ゴーストアラームカットエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

## 11. Nシステムの警告設定

Nシステムボタン(⑩)を短く押すことにより、設定が切り替わり、液晶表示と音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON	→	Nシステムを設定しました。
OFF	→	Nシステムを解除しました。

## 12. GPSアラームカットの登録・解除

頻繁に走行するなどしてよくわかっている取締機については、アラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。アラームカット登録を行った場合でも液晶表示による警告表示は通常通り行います。

### 操作方法

- 1 GPS警告中に、MEMO/CLRボタン(②)を押します。  
あらかじめ登録されている取締機のGPS警告中に、MEMO/CLRボタン(②)を押します。
- 2 アラームカット登録を行います。  
“ポーン、設定しました”と音声でお知らせし、アラームカット登録がされます。

※アラームカット登録を解除するには、アラームカット動作中に再度MEMO/CLRボタン(②)を長く押します。操作後通常通りの音声警告を再開します。

## 13. オリジナルポイントの登録・削除

新しく設置された取締機やよく取締の行われているポイントなど、任意の地点を30ヶ所までオリジナルポイントとして登録することができます。

### 登録方法

- 1 MEMO/CLRボタン(②)を短く押します。  
“ポーン”と音でお知らせし、GPS測位を開始します。
- 2 オリジナルポイントが登録されます  
オリジナルポイントが登録されます。GPSの測位状況によっては一定時間かかる場合があります。  
登録完了時は液晶表示と“オリジナルポイントを設定しました”と音声でお知らせします。  
 →
- 3 受信待ちの状態になります  
登録したポイントは次回接近時にオリジナルポイントとして警告します。

### ご注意

- オリジナルポイントは最大30ヶ所登録可能です。  
新たに登録したい場合は、登録内容を削除してください。

### ■オリジナルポイントの消去

オリジナルポイントを個別に消去するには、それぞれのポイントのGPS警告中に消去操作を行います。また、全てのオリジナルポイントを一括消去することもできます。

### 個別消去

- 1 オリジナルポイントのGPS警告中に、MEMO/CLRボタン(②)を長く押します。
- 2 ポイントデータを消去します。  
“オリジナルポイントを消去しました”と音声でお知らせします。

### 一括消去

- 1 本体裏のリセットボタンを短く押した後、リモコンのMEMO/CLRボタン(②)を短く押します。
- 2 すべてのポイントデータを消去します。  
“オリジナルポイントを消去しました”と音声でお知らせし、レーダー本体は再起動します。

## 14. 通過速度の参照

取締機に対する警告動作中に告知された通過速度は、あとで参照することができます。

### 操作方法

- ① MUTEボタン(③)を長く押しします。
- ② 音声で最後に取締機を通過した時の通過速度をお知らせします。  
※動作開始後、通過履歴のない場合はお知らせできません。  
通過速度の履歴は、本体がパワーオフされると消去されます。



## 15. 表示モードの変更

DISPLAYボタン(①)を短く押す事で、速度表示→加速度表示→緯度経度表示→時計表示→日付表示→非表示と液晶の表示を切り替える事ができます。

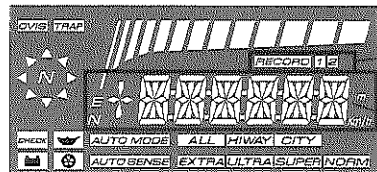
受信設定	液晶表示	
速度表示		現在の速度を表示します。
加速度表示		レベルゲージの増減で加速度を表示します。
緯度経度表示		現在の緯度、経度を表示します。
時計表示		現在の時刻を表示します。
日付表示		現在の日付を表示します。
非表示		何も表示しません。

## 16. 履歴情報の登録・再生・削除

プリセットGPSポイントの通過時の走行履歴を自動登録、または手動操作で登録します。

取締機通過前後の走行履歴を保存し液晶表示及び、音声で出力し確認する事ができます。

※走行履歴がある場合、液晶に表示されます。



RECORD 1 2

※レコード記録ある場合の表示

●マルチディスプレイエリア  
液晶表示します。

### 登録方法

- ①自動登録  
本機に登録済みの取締機を通過するたびに、走行情報をRECORD①に自動保存します。
- ②手動登録  
本体の記録ボタン(REC)を押すと、操作前後30秒間の走行情報をRECORD②に保存します。

※履歴の保存はRECORD①及びRECORD②共に、上書き保存されます。  
ただし、走行情報が保護状態の場合は登録できません。

### 再生方法

- ①自動記録の再生
  - ① PLAY1ボタン(Ⓜ)を短く押しします。
  - ② 液晶にRECORD①に記録された「日付」「時間」「速度」「緯度」「経度」が表示され、“通過速度はxxx未満/以上です。”と、音声でお知らせします。  
PLAY1ボタン(Ⓜ)で項目切り替え、UPボタン(Ⓢ)、DOWNボタン(Ⓣ)でデータの上下を行います。
  - ③ PLAY2ボタン(Ⓨ)を短く押しすと通常動作になります。  
※無操作30秒でも通常動作になります。
- ②手動記録の再生
  - ① PLAY2ボタンを短く押しします。
  - ② 液晶にRECORD②に記録された「日付」「時間」「速度」「緯度」「経度」が表示され、“通過速度はxxx未満/以上です。”と、音声でお知らせします。  
PLAY2ボタン(Ⓨ)で項目切り替え、UPボタン(Ⓢ)、DOWNボタン(Ⓣ)でデータの上下を行います。
  - ③ PLAY1ボタン(Ⓜ)を短く押しすと通常動作になります。  
※無操作30秒でも通常動作になります。

### 削除方法

- ①自動記録の削除
  - ① PLAY1ボタン(Ⓜ)を長く押しします。
  - ② 液晶に「R1-CLR」と表示されます。



※データがLOCK状態の場合は液晶に「ERROR」と表示されます。

## ② 手動記録の削除

① PLAY2ボタン(⑫)を長く押しします。

② 液晶に「R2-CLR」と表示されます。



※データがLOCK状態の場合は液晶に「ERROR」と表示されます。

※本体裏のリセットボタンを押してからLOCKボタン(⑫)を押す事で全ての走行履歴を消去できます。

## 17. 履歴情報保護の設定

走行履歴情報を保護し、上書き禁止にすることができます。

### 保護方法

① LOCKボタン(⑬)を短く押しします。

② 記録がある場合は液晶に「LOCKED」と表示され、「ピンポーン、設定しました」と音声でお知らせします。



### 注意

●記録がない場合は液晶に「NODATA」と表示され、「設定できません」と音声でお知らせします。



### 解除方法

① LOCKボタン(⑬)を長く押しします。

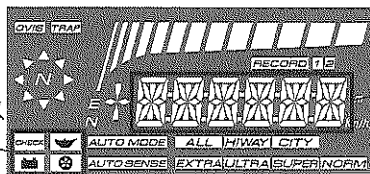
② 記録がある場合は液晶に「UNLOCK」と表示され、「解除しました」と音声でお知らせします。



## 18. カー・メンテナンス・システム (CMS)

オイル交換、バッテリー交換、タイヤ交換時に登録して下さい。

次回点検を忘れることのないように、一定期間が経過後に自動的に点検案内を行います。



●メンテナンス  
ガイド

●マルチディスプレイ  
エア  
液晶表示します。

## 履歴確認

① メンテナンスボタン(⑭)を短く押しします。

メンテナンスボタン(⑭)を短く押すと液晶に「オイル」→「バッテリー」→「タイヤ」の順に登録情報を表示します。

※未登録時は液晶に「NODATA」と表示します。



## 登録方法

① メンテナンスボタン(⑭)を長く押しします。

② 点検記録モードに入ります。メンテナンスボタン(⑭)を短く押すたびに、「オイル」→「バッテリー」→「タイヤ」と、順に表示が切り替わります。



③ 記録したい項目を選択した状態でメンテナンスボタン(⑭)を長く押す事で設定し液晶に「MEMORY」と表示され、「xxxの点検を設定しました」と音声でお知らせします。



・メンテナンス設定がされてから一定期間を過ぎると液晶に「CHECK」と表示し該当する項目を点滅させ、音声で交換時期をお知らせします。

液晶表示	説明	お知らせ時期
	点検案内時に表示されます。	-
	オイル交換日が登録されているときに表示されます。	約3ヶ月
	バッテリー交換日が登録されているときに表示されます。	約1年
	タイヤ交換日が登録されているときに表示されません。	約2年

## 削除方法

・本体裏のリセットボタンを押してからメンテナンスボタン(⑭)を短く押すことで全てのメンテナンス情報を消去します。

## 9. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない (ランプがつかない)	●カー電源コードが奥まで入っていない (P.10参照)
リモコンが操作できない	●リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池に交換してください。(P.23参照) ●リモコンの赤外線が遮られていますか。 ●操作部の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなることがあります。
何も表示しない	●表示モードが非表示設定になっていませんか。(P.33参照)
受信しない (音が出ない)	●電源がはいっていない ●音量が低い (P.24参照) ●受信感度設定がノーマルで電波の弱い場所にいる (P.26参照) ●AACが働いている (P.27参照) ●GPS測位が確立していない ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了などでレーダー取締機に電源がはいっていない。
GPS警告をしない	●GPS測位していない。 ●新規に設置されたオービスである。
取締以外で警告がでる	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響
取締現場で連絡無線が受信できない	●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありません。
警告音が鳴り続ける	●アンテナとの接続が外れていませんか。(P.10参照)

## 10. 主な仕様

### ◇GPS受信部

- データ登録件数 ..... 10,000件
- オービス登録地点 ..... 約650ヶ所
- 取締ポイント ..... 登録済
- オリジナルポイント ..... 最大30ヶ所

### ◇レーダー受信部

- 受信周波数 ..... X/Kバンド
- 受信方式 ..... ダブルスーパーヘテロダイナ

### ◇レーダー受信部

- 受信周波数 ..... UHF帯/VHF帯
- 受信方式 ..... ダブルスーパーヘテロダイナ

### ◇外観・一般

- 電源電圧 ..... 本体 DC24/12V共用  
..... リモコン リチウムコイン電池 CR2025×1個
- 動作温度範囲 ..... -10℃ ~ +60℃
- 外形寸法 ..... 本体 90(W)×40(H)×22(D)mm  
..... アンテナ 55(W)×23.5(H)×51(D)mm  
..... リモコン 56(W)×6(H)×86(D)mm
- 重量 ..... 本体 140g (コード含む)  
..... アンテナ 90g (コード含む)  
..... リモコン 21g (電池除く)

## ●保証規定

1. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - (ロ) お買い上げ後の郵送、移動、落下等による故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、公害、その他天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
  - (ニ) 保証書のご提示がない場合。
  - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

### ●保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書（本書に刷り込まれています）は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

### ■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。  
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ●あらかじめ承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめ承知ください。

### ●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687